

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 6 年 9 月 5 日(2024.9.5)

【国際公開番号】 WO2024/069715
【出願番号】 特願 2023-514124(P2023-514124)
【国際特許分類】
G 0 6 Q 5 0 / 2 2 (2 0 2 4 . 0 1)
【 F I 】
G 0 6 Q 5 0 / 2 2

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 2 月 27 日(2023.2.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

互いに通信可能なサーバ装置（20）および端末装置（30）のうち少なくとも前記サーバ装置と通信可能なセンサ装置（10）を備え、1人以上の監視対象者の体調および行動を監視可能な体調行動監視システムであって、

前記センサ装置は、1人以上の前記監視対象者それぞれの身体に取り付け可能であり、前記監視対象者の心拍数を生体情報として検出可能、かつ、前記監視対象者の所在を位置情報として検出可能な検出部（12）と、

前記検出部により検出した前記生体情報および／または前記位置情報を処理可能な処理部（100、200、300）と、

前記検出部により検出、または、前記処理部により処理された前記生体情報および／または前記位置情報に基づき表示情報を生成可能な表示情報生成部（22、32）と、

30

前記表示情報生成部により生成された前記表示情報を表示可能な表示部（33）と、を備え、

前記検出部は、第 1 所定期間（T1）毎に前記生体情報を検出し、第 2 所定期間（T2）毎に前記位置情報を検出し、

前記第 1 所定期間または前記第 2 所定期間の少なくとも一方を変更可能な所定期間変更部（23、37）をさらに備え、

前記検出部は、前記監視対象者の心拍数に加え、体温および血中酸素濃度を生体情報として検出可能であり、

前記所定期間変更部は、所定の条件である範囲外活動中条件に基づき「前記監視対象者は所定の地理的範囲外で活動中である」と判断した場合、「前記生体情報のうち体温および血中酸素濃度についての前記第 1 所定期間を、判断前よりも長くなるよう変更」する体調行動監視システム。

40

【請求項 2】

前記検出部により検出した前記生体情報および／または前記位置情報が所定の条件を満たしたとき、アラートを出力可能なアラート部（13、34）をさらに備える請求項 1 に記載の体調行動監視システム。

【請求項 3】

前記アラート部は、前記位置情報に基づき、前記監視対象者が所定の地理的範囲から外れたと判断した場合、アラートを出力する請求項 2 に記載の体調行動監視システム。

【請求項 4】

50

前記端末装置と前記センサ装置との距離を検出可能な距離検出部（３５）をさらに備え

、
前記アラート部は、前記距離検出部により前記端末装置と前記センサ装置との距離が所定の距離以上であることを検出した場合、アラートを出力する請求項２に記載の体調行動監視システム。

【請求項５】

前記アラート部は、前記検出部により検出した前記生体情報の心拍数が０になったとき、「前記監視対象者の身体から前記センサ装置が取り外された」と判断し、アラートを出力する請求項２に記載の体調行動監視システム。

【請求項６】

前記表示情報生成部は、前記位置情報に基づき、前記監視対象者に対応する画像を地図画像の前記位置情報に対応する位置に重ねた表示情報を生成可能である請求項１に記載の体調行動監視システム。

【請求項７】

前記端末装置の所在である端末位置情報を検出可能な端末位置情報検出部（３６）をさらに備え、

前記表示情報生成部は、前記位置情報と前記端末位置情報とに基づき、前記端末装置から前記監視対象者までの経路を地図画像に重ねた表示情報を生成可能である請求項１に記載の体調行動監視システム。

【請求項８】

前記所定期間変更部は、所定の条件である睡眠中条件に基づき「前記監視対象者は睡眠中である」と判断した場合、「前記第１所定期間を、判断前よりも短くなるよう変更」および／または「前記第２所定期間を、判断前よりも長くなるよう変更」する請求項１～７のいずれか一項に記載の体調行動監視システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

表示部は、表示情報生成部により生成された表示情報を表示可能である。そのため、監視者は、表示部に表示された表示情報を確認することにより、監視対象者の体調に加え、行動も監視可能である。

検出部は、第１所定期間（Ｔ１）毎に前記生体情報を検出し、第２所定期間（Ｔ２）毎に前記位置情報を検出する。

体調行動監視システムは、前記第１所定期間または前記第２所定期間の少なくとも一方を変更可能な所定期間変更部（２３、３７）をさらに備える。

検出部は、監視対象者の心拍数に加え、体温および血中酸素濃度を生体情報として検出可能である。

所定期間変更部は、所定の条件である範囲外活動中条件に基づき「監視対象者は所定の地理的範囲外で活動中である」と判断した場合、「前記生体情報のうち体温および血中酸素濃度についての前記第１所定期間を、判断前よりも長くなるよう変更」する。

10

20

30

40

50